



OSPF 再送信回数制限

機能の履歴

リリース	変更点
12.2(11)T	この機能が導入されました。

ここでは、Open Shortest Path First (OSPF) プロトコルの再送信処理の変更点について説明します。このモジュールの構成は次のとおりです。

- 「機能概要」 (P.1)
- 「利点」 (P.2)
- 「制約事項」 (P.2)
- 「関連機能およびテクノロジー」 (P.2)
- 「サポートされているプラットフォーム」 (P.2)
- 「設定作業」 (P.3)
- 「コマンドリファレンス」 (P.3)

機能概要

Cisco IOS リリース 12.2(4)T から、デマンド回線および非デマンド回線の両方について、データベース交換パケットおよびアップデートパケットの再送信回数を制限する機能が追加されました。これらのパケットの再送は、いったんリトライ制限に到達すると停止します。これにより、ネイバーが隣接関係の形成中に何らかの理由で応答しない場合に、パケット再送の繰り返しがリンクが不要に使用されることを防ぎます。

デマンド回線と非デマンド回線の再送信の制限はいずれも 24 回です。

limit-retransmissions コマンドを使用すると、再送数の制限を解除（ディセーブルに）するか、再送の最大数を 1 ～ 255 の範囲の値に変更できます。

利点

limit-retransmissions コマンドを設定することで、Cisco IOS ソフトウェアの以前のリリースまたは他のリリース、あるいはこの機能を持たない他のルータとの下位互換性が確保されます。

制約事項

再送数の制限は、非ブロードキャスト マルチアクセス (NBMA) ポイントツーマルチポイントの直接回線でのアップデート パケットには適用されません。この場合は、デッド タイマーを使用して応答しないネイバーとの通信を終了することで再送信を停止します。

関連機能およびテクノロジー

この機能は、OSPF ルーティング プロトコルを拡張したものです。OSPF の設定、およびルート集約とフィルタリングの設定の詳細については、『*Cisco IOS IP Routing Protocols Configuration Guide*』および『*Cisco IOS IP Routing: OSPF Command Reference*』の「Configuring OSPF」の章を参照してください。

サポートされているプラットフォーム

limit-retransmissions コマンドは、Cisco IOS リリース 12.2(11)T の次のプラットフォームでサポートされます。

- Cisco AS5300
- Cisco AS5400
- Cisco AS5800
- Cisco 1400 シリーズ
- Cisco 1600 シリーズ
- Cisco 1600R シリーズ
- Cisco 1710
- Cisco 1720
- Cisco 1721
- Cisco 1750
- Cisco 1751
- Cisco 2500 シリーズ
- Cisco 2600 シリーズ
- Cisco 3620
- Cisco 3631
- Cisco 3640
- Cisco 3725
- Cisco 3745

- Cisco 3660
- Cisco IGX 8400 シリーズ URM
- Cisco MC3810
- Cisco 7100 シリーズ
- Cisco 7200 シリーズ
- Cisco 7500 シリーズ
- Cisco uBR7200 シリーズ

この章で紹介する機能情報の入手方法

お使いの Cisco IOS ソフトウェアが、このモジュールで説明されている機能の一部をサポートしていないことがあります。最新の機能情報および警告については、ご使用のプラットフォームおよびソフトウェア リリースのリリース ノートを参照してください。

プラットフォームと Cisco IOS および Catalyst OS ソフトウェア イメージのサポート情報の検索

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォーム、Cisco IOS ソフトウェア イメージ、および Cisco Catalyst OS ソフトウェア イメージの各サポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

設定作業

OSPF 再送信回数制限機能の設定タスクについては、次の各項を参照してください。一覧内の各作業は、必須と任意に分けています。

- 「[OSPF 再送信回数制限の設定](#)」(必須)

OSPF 再送信回数制限の設定

OSPF 再送信回数制限を設定するには、ルータのコンフィギュレーションモードを開始して、次のコマンドを実行します。

	コマンド	目的
ステップ 1	Router(config)# router ospf process-id	OSPF プロセスを実行するよう、ルータを設定します。
ステップ 2	Router(config-router)# limit retransmissions [{dc {max-number disable }] [non-dc {max-number disable }]	デマンド回線および非デマンド回線の両方について、データベース交換パケットおよびアップデートパケットの再送信回数の制限を設定します。

コマンド リファレンス

次に示すコマンドは、このモジュールに記載されている機能に導入、または変更されたものです。これらのコマンドの詳細については、『[Cisco IOS IP Routing: OSPF Command Reference](#)』を参照してください。すべての Cisco IOS コマンドの詳細については、<http://tools.cisco.com/Support/CLILookup> にある Command Lookup Tool を使用するか、Cisco IOS マスター コマンドリストを参照してください。

- **limit retransmissions**

CCDE, CCENT, CCSI, Cisco Eos, Cisco HealthPresence, Cisco IronPort, the Cisco logo, Cisco Nurse Connect, Cisco Pulse, Cisco SensorBase, Cisco StackPower, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco Unified Computing System, Cisco WebEx, DCE, Flip Channels, Flip for Good, Flip Mino, Flipshare (Design), Flip Ultra, Flip Video, Flip Video (Design), Instant Broadband, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, Cisco Capital, Cisco Capital (Design), Cisco:Financed (Stylized), Cisco Store, Flip Gift Card, and One Million Acts of Green are service marks; and Access Registrar, Aironet, AllTouch, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, Continuum, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Explorer, Follow Me Browsing, GainMaker, iLYNX, IOS, iPhone, IronPort, the IronPort logo, Laser Link, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, PCNow, PIX, PowerKEY, PowerPanels, PowerTV, PowerTV (Design), PowerVu, Prisma, ProConnect, ROSA, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0910R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2008 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2008–2010, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.